

小山高校令和3年度入試・結果分析総括

信じる **Trust!** 育てる **Foster!** 支える **Support!** 進路指導部

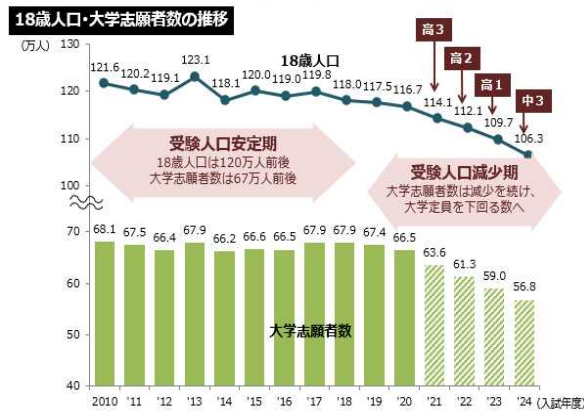
1 令和3(2021)年度入試のトピックスと受験環境



2021年度の志願動向

- 大学志願者数(頭数)の減少により、国公立大・私立大ともに志願者減少
- 国公立大：共通テスト総合型平均点上昇で難関大、医学科へ強気の出願
- 私立大：コロナ禍の影響大きく出願校数抑える動き
- 地元志向、資格系統(医療、教育、福祉)の人気上昇

受験人口は本格的な減少期に突入



2 大学入学共通テスト分析

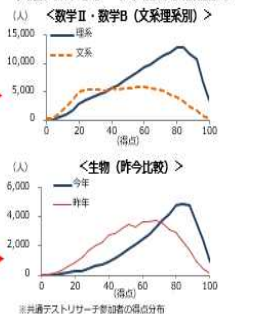
■全国5教科文系平均 昨年から 5.2点↑ 平均点564点
 ■全国5教科理系平均 昨年から16.6点大幅↑ 平均点581点

共通テスト 主要科目・総合型平均点

共通テスト 主要科目平均点

教科・科目	昨年	今年	差
英語リーディング(R)	58.2	58.8	+0.6
英語リスニング(L)	57.6	56.2	-1.4
数学Ⅰ・数学A	51.9	57.7	+5.8
数学Ⅱ・数学B	49.0	59.9	+10.9
国語	119.3	117.5	-1.8
物理基礎	33.3	37.6	+4.3
化学基礎	28.2	24.7	-3.6
生物基礎	32.1	29.2	-2.9
地学基礎	27.0	33.5	+6.5
物理	60.7	62.4	+1.7
化学	54.8	57.6	+2.8
生物	57.6	72.6	+15.0
地学	39.5	46.7	+7.2
世界史B	63.0	63.5	+0.5
日本史B	65.5	64.3	-1.2
地理B	66.4	60.1	-6.3
倫理・政治・経済	66.5	69.3	+2.8
現代社会	57.3	58.4	+1.1
倫理	65.4	72.0	+6.6
政治・経済	53.8	57.0	+3.2

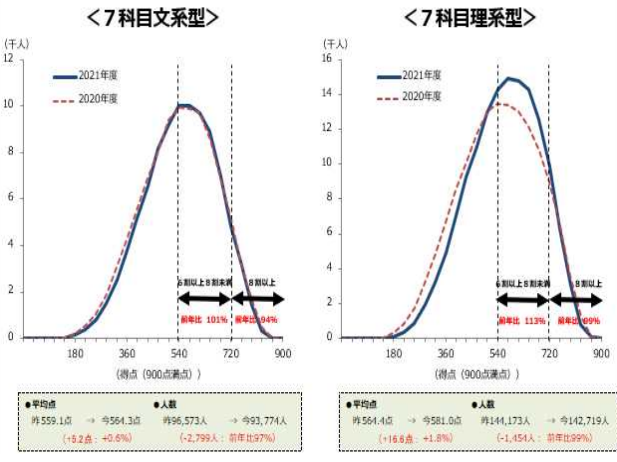
共通テストリサーチ参加者の得点分布



7科目型平均点(河合塾推定)

科目	昨年	今年	差
7科目文系型	547点	555点	+8点(+0.9%)
7科目理系型	552点	571点	+19点(+2.1%)

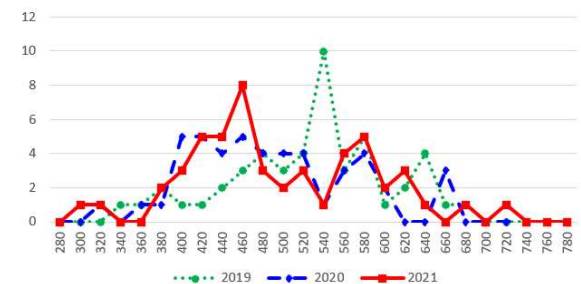
共通テスト 7科目受験者の得点分布



■校内概況

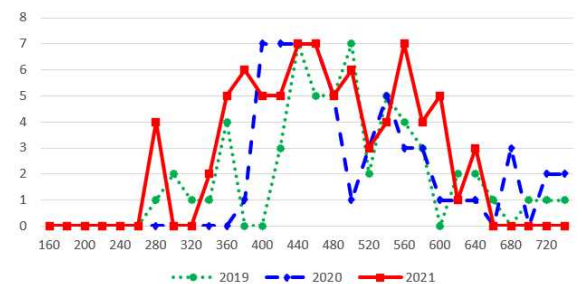
【文系】

文系



【理系】

理系



■文系：共通テストとなって成績層の2極化が顕著に見受けられた。久しぶりに、700点越があり、さらに昨年より中上位層が厚く、とても健闘した！！
 ■理系：上位層は例年より薄かったが、国公立大の合格可能性が高くなる540点以上の中位層が、例年になくかなり厚く、とても健闘した！！

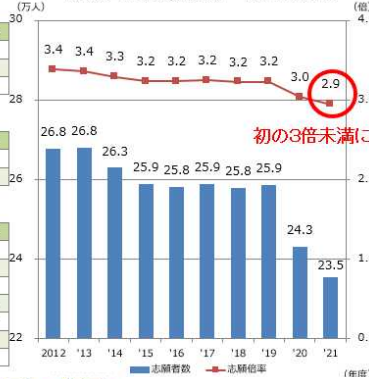
2 国公立大学入試

国公立大の志願状況①(全体概況)

国公立大志願者数の変化

	2020年度	2021年度	前年差	前年比
前期日程	243,103	235,400	-7,703	97%
後期日程	165,086	160,918	-4,168	97%
中期日程	31,426	29,090	-2,336	93%

前期日程志願者数・倍率の推移



■国公立・公立別(前期日程)

	2020年度	2021年度	前年差	前年比
国立大学	182,772	177,176	-5,596	97%
公立大学	60,331	58,224	-2,107	97%

■地区別(前期日程)

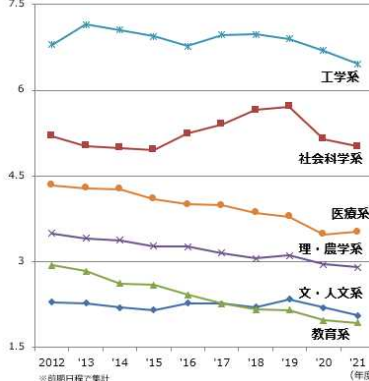
	2020年度	2021年度	前年差	前年比
北海道	12,584	11,552	-1,032	92%
東北	19,376	18,381	-995	95%
関東・甲信越	74,062	69,619	-4,443	94%
北陸・東海	31,326	32,338	+1,012	103%
近畿	39,697	39,520	-177	100%
中国・四国	33,872	32,516	-1,356	96%
九州	32,186	31,474	-712	98%

国公立大の志願状況②(系統別の状況)

学部系統別志願者数の変化



学部系統別志願者数の推移



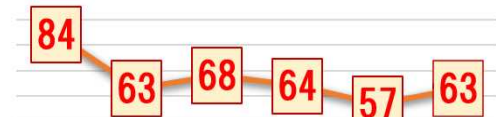
□後期欠席率 過去最高約61.3% 急上昇!! [3人に2人は欠席]

近年の受験生は最後まで粘りきれない、見かけの倍率が高く諦めてしまう、また通える私立でいいと決めてしまいがちな生徒が多いことから後期欠席率は年々上昇し続けている。欠席率が高いことから後期の実質倍率は低く、本校生徒も例年後期まで頑張り切った生徒が、厳しい判定でも逆転合格しています。だから、やはり見かけの倍率にごまかされず後期まで頑張り切ることが、国公立合格の鉄則である。

3 国公立大学概況(本校)

◎今年度63名合格!!
 3カ年で約200名合格!!
 ◎一般合格率: 63%!!
 全国平均(22%)約3倍!!
 ◎筑波大: 合格!!
 ◎宇都宮大: 18名合格!!
 ※過去最高

国公立大学合格者数



H28 H29 H30 R1 R2 R3

●38名出願して、23名合格!! 合格率61%
●特に工学部は、合格率85%

コロナの影響で、他校は指定校推薦で早くしまいたい傾向があるなか、本校生は最後まで頑張る一般選抜の出願者が増え、さらに合格者が大幅に増加した！大変健闘したと評価！

■難関私大計34人合格 H29(39名)→H30(39名)→R1(32名)

※主な難関私立大学

慶応	2	早稲田	1	青山学院	2	学習院	5	明治	2	立教	1
中央	2	法政	9	津田塾	2	東京理科	5	立命館	3		

超難関慶応・早稲田揃っての合格は15年ぶり、また指定校に安易に頼らず、最後まで志望する難関大に昨年以上の合格者が出たことは、かなり健闘した！！

■中堅私大計218人合格 H29(171名)→H30(185名)→R1(158名)

※主な中堅私立大学

日本	17	東洋	39	駒澤	8	専修	5	成城・成蹊・國學院・武蔵	5
明治学院	3	大東文化・亜細亜・帝京・国士舘	44	順天堂・杏林	4				
文教	20	獨協	16	日本女・昭和女・大妻女・女子栄養	11	東京電機	22		
芝浦工業	9	東京都市	7	工学院	3	東京農業・東京家政	5		

今年度は文部科学省からコロナ感染の影響による受験生への負担軽減により、定員厳格化がやや緩くなったこともあるが、また他校が指定校推薦で早く決めてしまいたい傾向があるなか、本校生徒は最後まで頑張る一般選抜の出願者が増え、さらに上記の中堅大学の合格者が大幅に伸びたことから、大変よく健闘した！！

■私立大学合格者数上位ランキング

①白鷗大	51	②東洋大	39	③帝京大	33	④日本工業	24	⑤東京電機	22
------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----

5 総合型選抜・学校推薦型選抜について

◆国公立大学

過去3力年 79名出願 → 41名合格!!【合格率 52%】

全国平均30%の約2倍、高い合格率!!

◎特に、数理科学科の合格率は67%と普通科より高い!!
→数理科学科課題研究等が、この選抜で高く評価される。

◆宇都宮大学:

過去3力年38名出願 → 23名合格!!【合格率 61%】

※特に、工学部は13名出願 → 11名合格!!【合格率 85%】

◆私立大学 69名出願→65名合格!【合格率 94%】

指定校推薦は内46名

※H29(40名)→H30(40名)→R1(56名)

小高生の素直・謙虚・実直な人柄は、大学等から高く評価されるので、本校は総合型選抜・学校推薦型選抜はとても有効な戦略!!積極的にチャレンジ!!

6 医療系入試について

臨床工学では日本で唯一の公立大学である公立小松大学

・保健医療学部・臨床工学専攻に初めて現役合格!!

自治医科大学・看護2人、獨協医科5人杏林3人現役合格!!

◆国公立大学志願者:「看護」は減少。「薬・医療技術」は増加。

◆私立大学志願者:「看護・医療技術」、「薬」は昨年の減少傾向を維持。

【公立大学】公立小松・保健医療学部・臨床工 群馬県民健康科学・看護学部

【私立大学】自治医科、獨協医科、国際医療福祉、杏林、足利、群馬パース、

目白、順天堂・帝京、帝京平成、人間総合科学等

【看護専門学校】栃木県衛生福祉大学校、晃陽看護栄養専門学校、等。

7 就職 0名 ※例年1~2名(消防・自衛隊・市役所等公務員)

8 浪人 H30:19名 → R1:19名 → R1:7名 → R2:0名

■小山高校の進路指導について

1 進路指導部の指針

◎『行き先』指導ではなく、『生き方』指導

『生徒のモチベーションを上げる』仕掛ける・攻めの進路指導
『信じる』Trust! (生徒の可能性を信じる!)
『育てる』Foster! (生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる!)
『支える』Support! (生徒と最後まで付き合い、全力で支える!)

2 効果的な進路指導のための2つのキーPoint

(1) キーその1~ 3年間の指導方針を明確にして指導する

◎全学年:基礎・基本の徹底・自主学習能力の育成

朝学【毎日40分×約600日(3年間)＝約400時間以上】

<1年次進路指導>

職業理解、大学理解→→文理選択決定

■キャリア教育【6月:職業理解:9月文理選択】※アクティブ・ラーニング
1日大学見学会・進路講演会(10月)、進路・受験指導(各学期)、等。

<2年次進路指導>

学部・学科、入試制度理解→大学に行く意義の理解を深め→志望進路先の決定
→志望理由書の作成

■キャリア教育【6月:学部・学科理解、9月:将来の方向性・設計】
※アクティブ・ラーニング、学部学科説明会(7月)・進路講演会(11月)
進路・受験指導(各学期)、等。

<3年次進路指導>志望進路の実現

(2) キーその2~

仲間の声を力にし、チーム小山の意識を高める!

◎『受験は団体戦!』仲間の声を力(One for all, All for one)
みんなで頑張る雰囲気・仲間への「気づき」が生徒を成長!!
→「チーム小山」の意識・形成

3 だから、小山高校は・・

早稲田大学に合格した先輩から

小山高校の先生方は、生徒一人一人ときちんと向き合い、いつも真剣に考え、全力でご指導してください。中学時代下野模試で小山高校の合格判定が努力圏、英語の偏差値50以下だった私が、到底無理と思われた難関早稲田大学に合格できたのも、そんな先生方や支え合う友人たちがいたからと、心から思います。

また私は、小高の指導だけを信じて、素直に努力を重ねることで、自信を持って入試に挑み、合格できました。

私は、小山高校で高校生活を送れたことを、誇りに思います。小高は自身の可能性・力を最大限引き出してくれる学校です!!



小山高校は、高校入学後から卒業までに、生徒が本来持っている良さ・力・可能性を引き出し、またそれを、最大限伸ばしてきた実績のある学校です。